

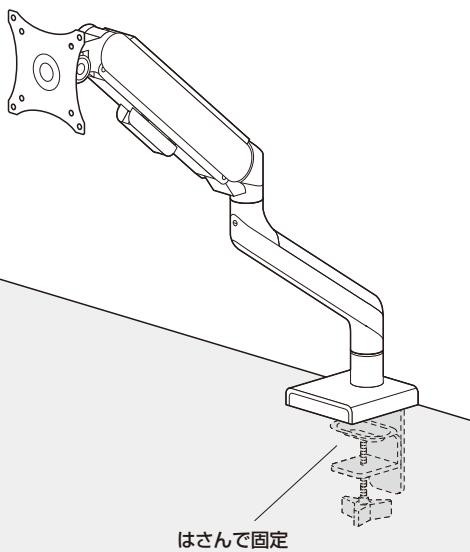
# モニター アーム フリー可動(EEX-LAF03シリーズ)組立説明書

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッケージケースの中には、下記の部品が入っています。

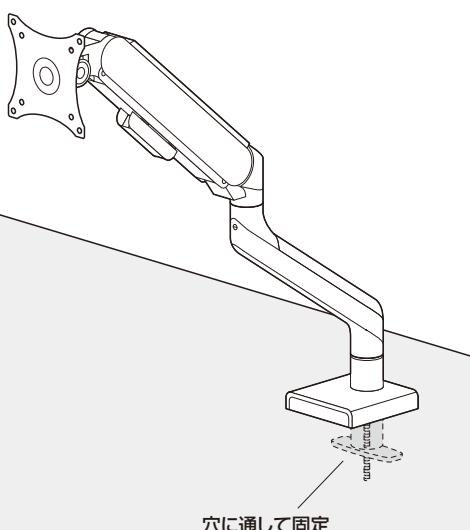
## 完成図

※本製品は2通りの固定ができます。  
固定方法によって手順が異なります。

### <はさんで固定する場合>



### <穴に通して固定する場合>



## 組立て部品

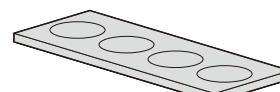
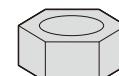
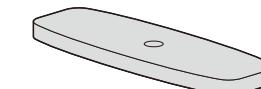
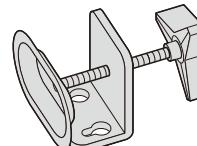
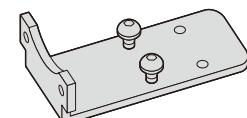
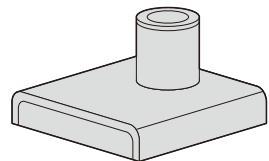
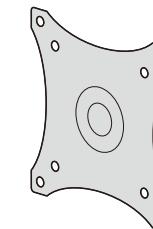
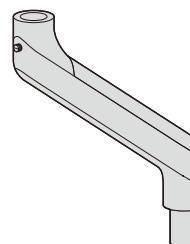
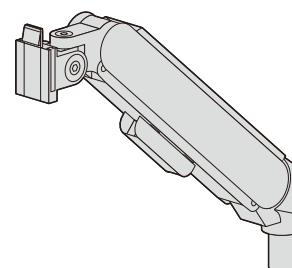
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-LAF03BKなど)と下記の部品番号(①～⑩)と部品名(ボルトAなど)をお知らせください。

Ver.1.0

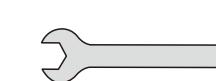
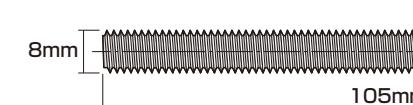
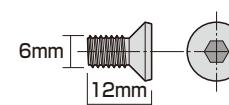
組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

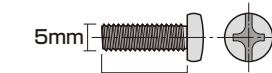
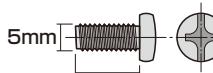
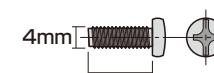
<用意していただくもの>  
電動ドリル 毛布  
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)



### <使用ボルト>



### <ディスプレイ取付用ボルト類>

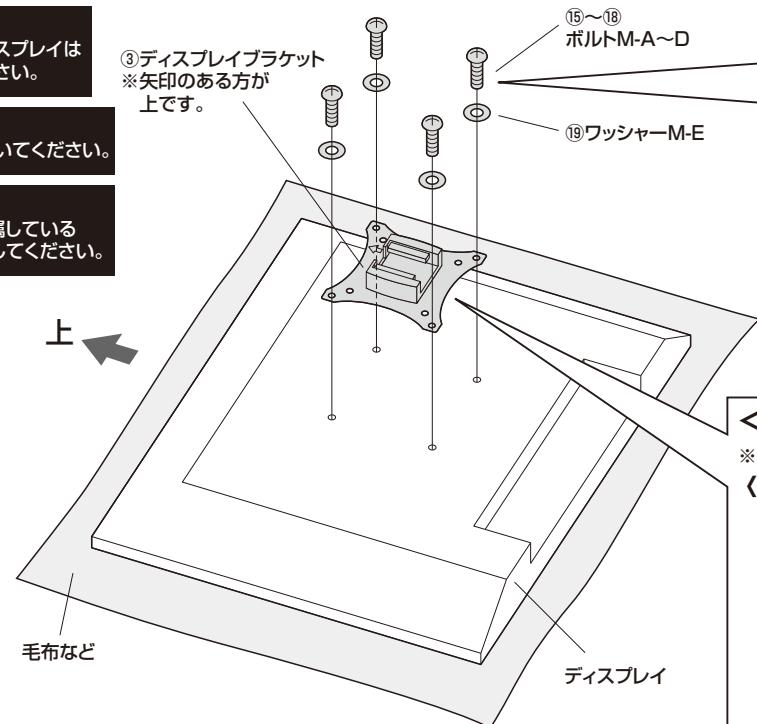


## 1. ディスプレイにディスプレイブラケットを取付けます。

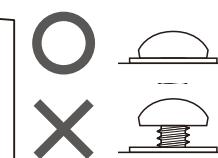
<注意>  
耐荷重以上のディスプレイは取付けないでください。

<注意>  
毛布などを下に敷いてください。

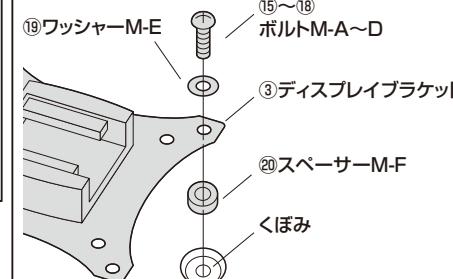
<注意>  
ディスプレイに付属している  
スタンド類は取外してください。



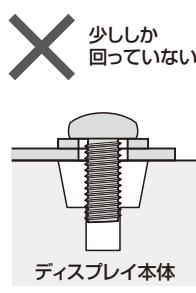
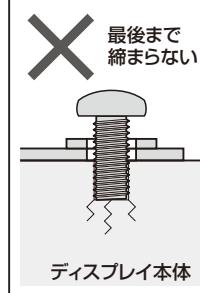
全てのボルト類を  
締め付けます。



<ボルト穴部分にくぼみがある場合>



<ボルト選定時の注意>



ディスプレイ本体

ディスプレイ本体

ボルト

⑯ワッシャーM-E  
(厚み約1mm)

ブラケット(厚み約2mm)

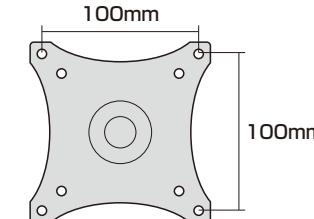
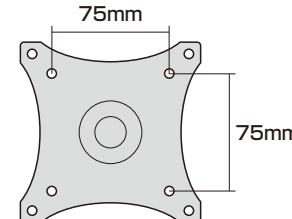
ボルトの長さを選ぶ際は、  
ブラケットの厚み  
+ワッシャーの厚みを  
加味してご用意ください。

ディスプレイ本体

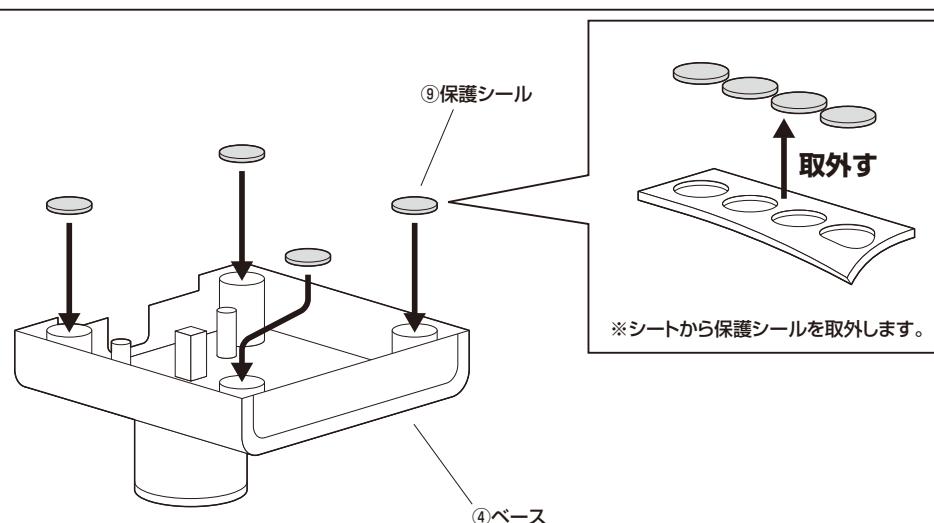
<上から見た図>

※ディスプレイのネジ穴とブラケットの穴を合わせます。

<ネジ穴ピッチ75×75mmの場合> <ネジ穴ピッチ100×100mmの場合>

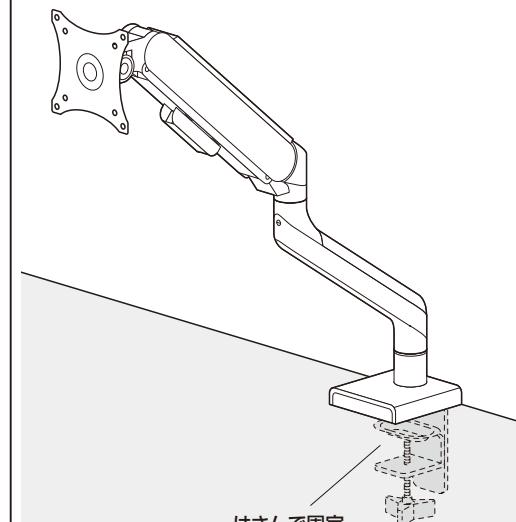


## 2. ベースに保護シールを貼り付けます。

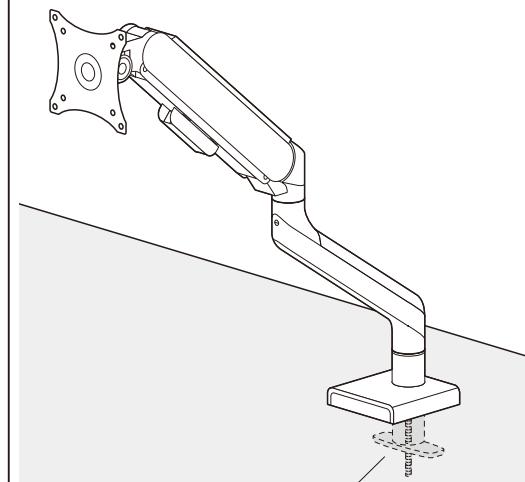


\*本製品は組立て方によって、手順3以降が異なります。

<はさんで固定する場合>

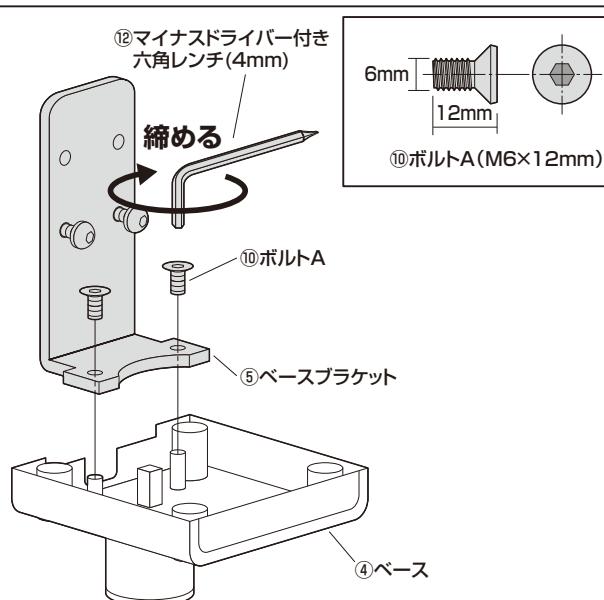


<穴に通して固定する場合>

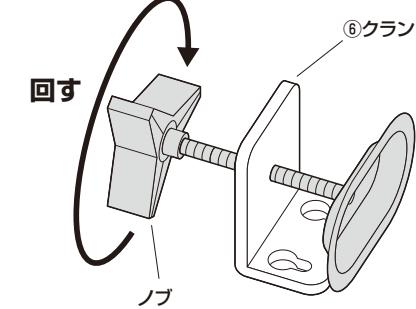


## はさんで固定する場合

### 3.ベースにベースブラケットを取付けます。

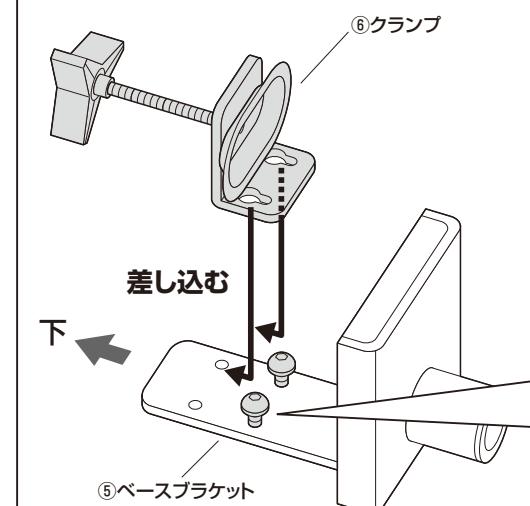


### 4.ノブを左(反時計回り)方向に止まるまで回します。

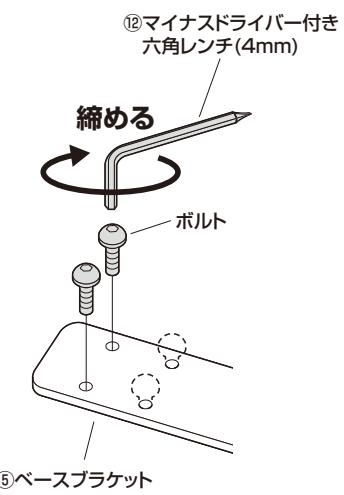


### 5.ベースブラケットにクランプを差し込みます。

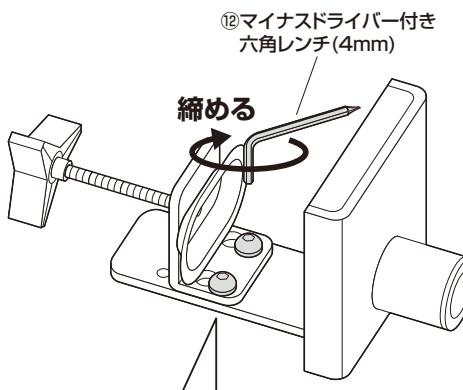
<天板の厚さ 10~55mm場合>



<天板の厚さ 55~85mm場合>



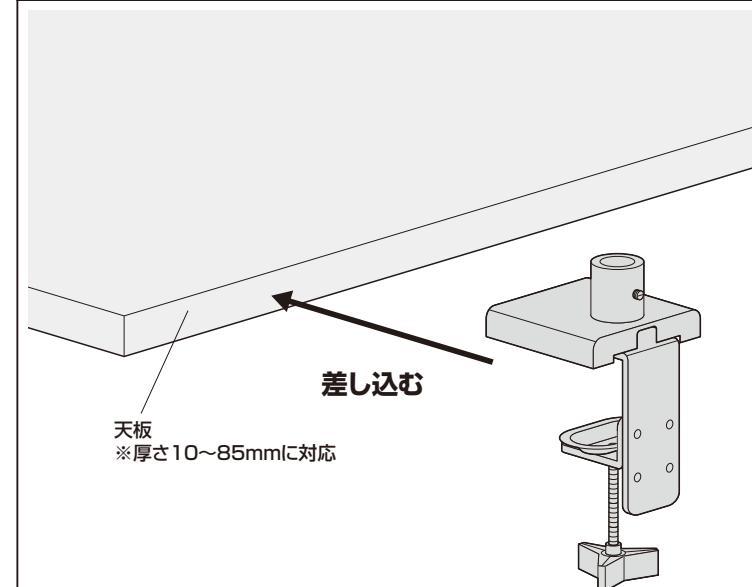
### 6.クランプを固定します。



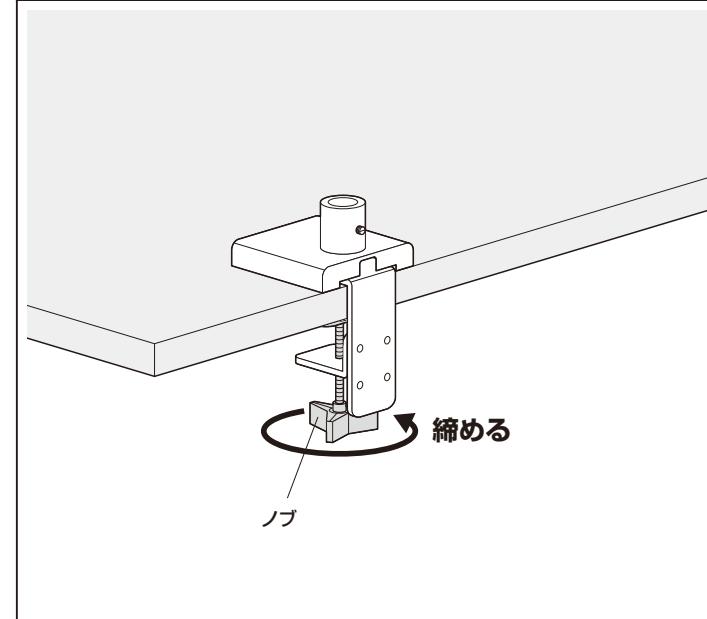
全てのボルトを締め付けます。



### 7.天板に差し込みます。

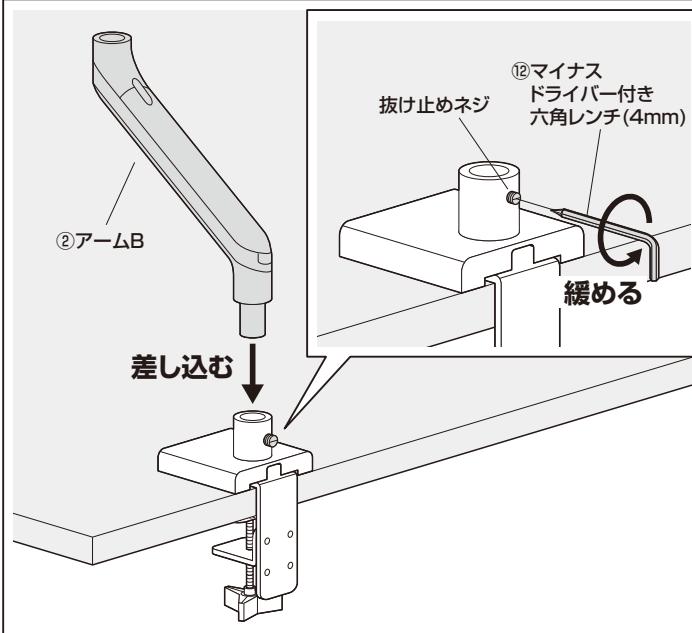


### 8.ノブを回して固定します。

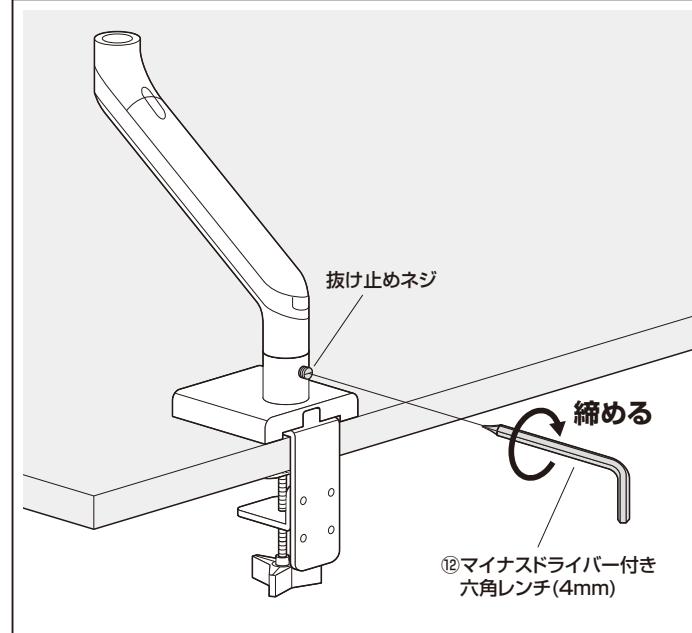


## はさんで固定する場合

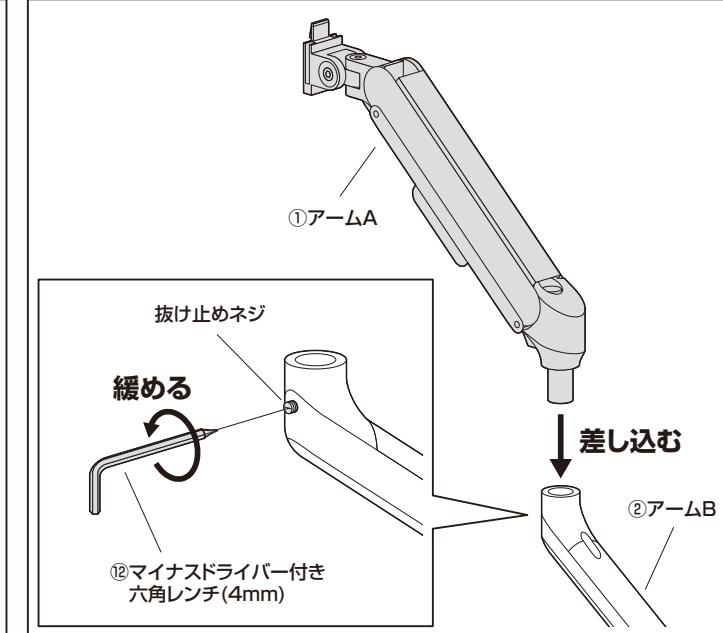
### 9.アームBを差し込みます。



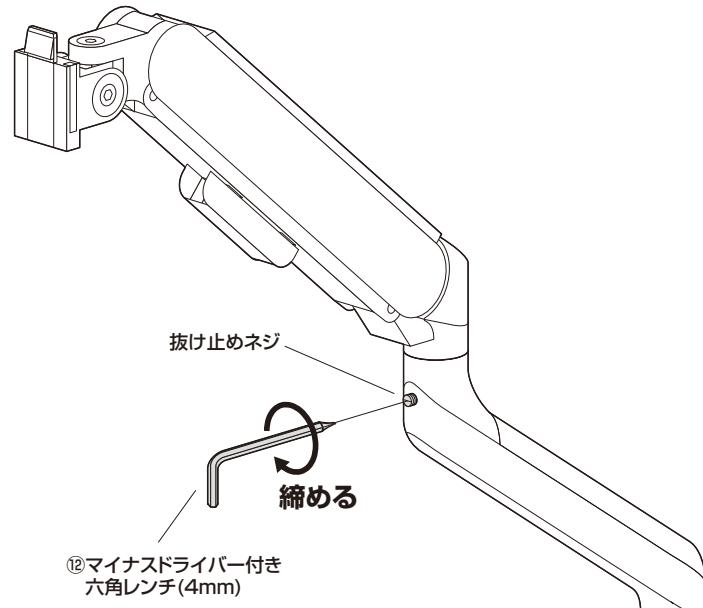
### 10.アームBを固定します。



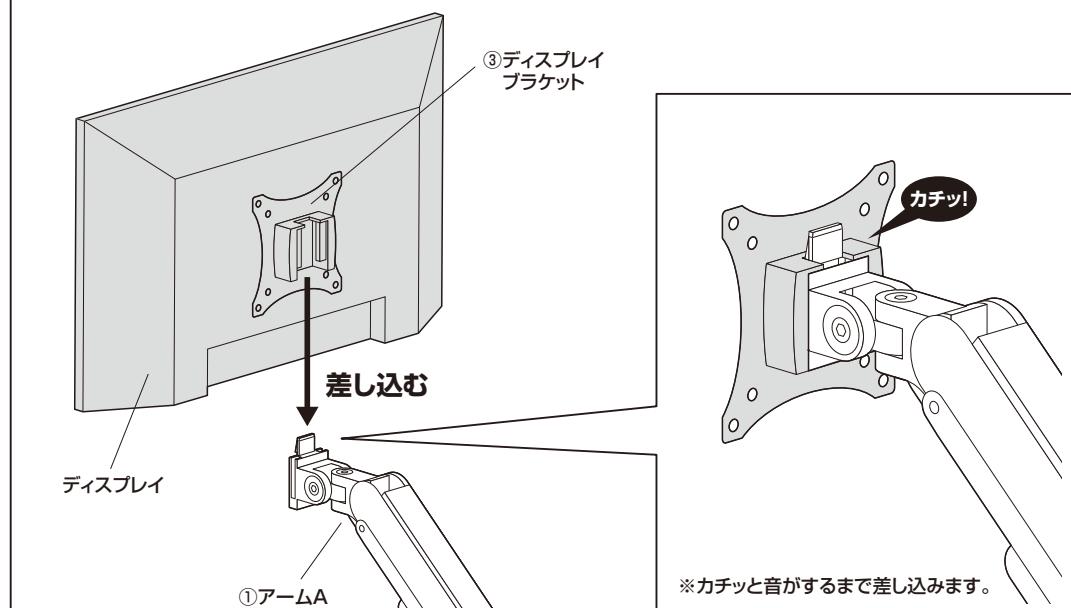
### 11.アームAを差し込みます。



### 12.アームAを固定します。

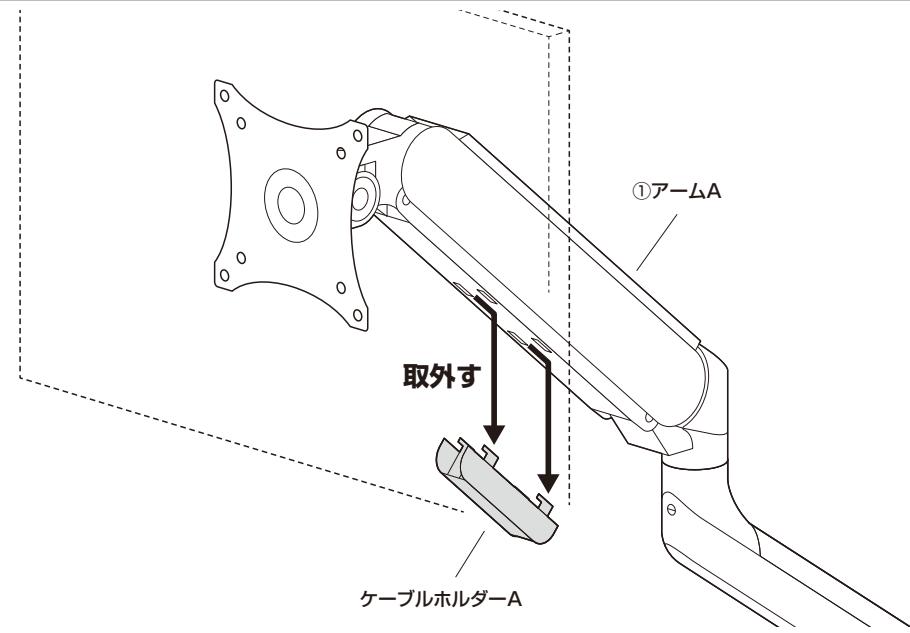


### 13.アームAにディスプレイブラケットを差し込みます。

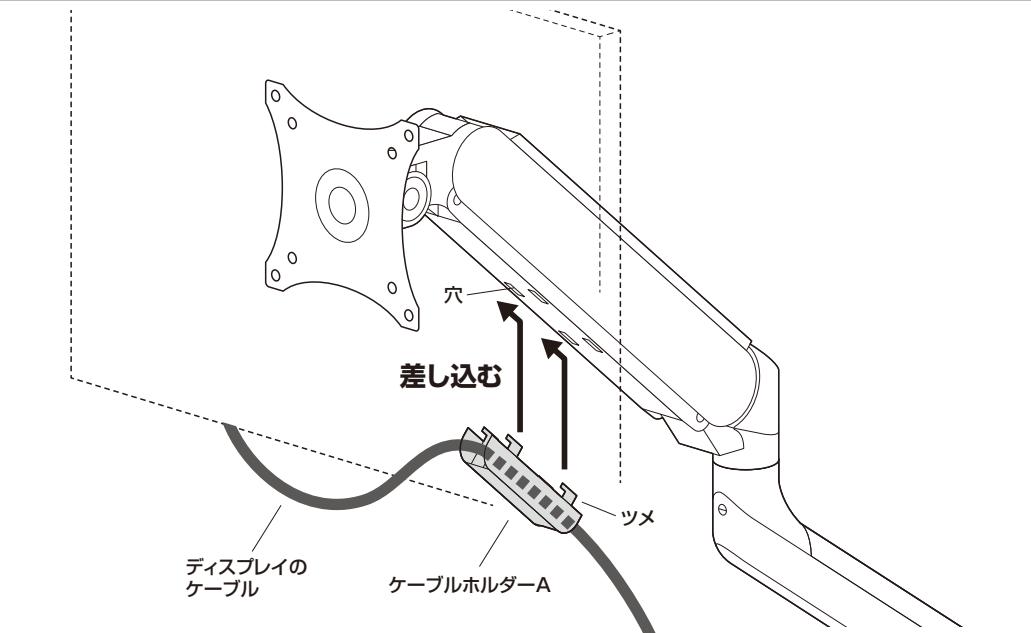


## はさんで固定する場合

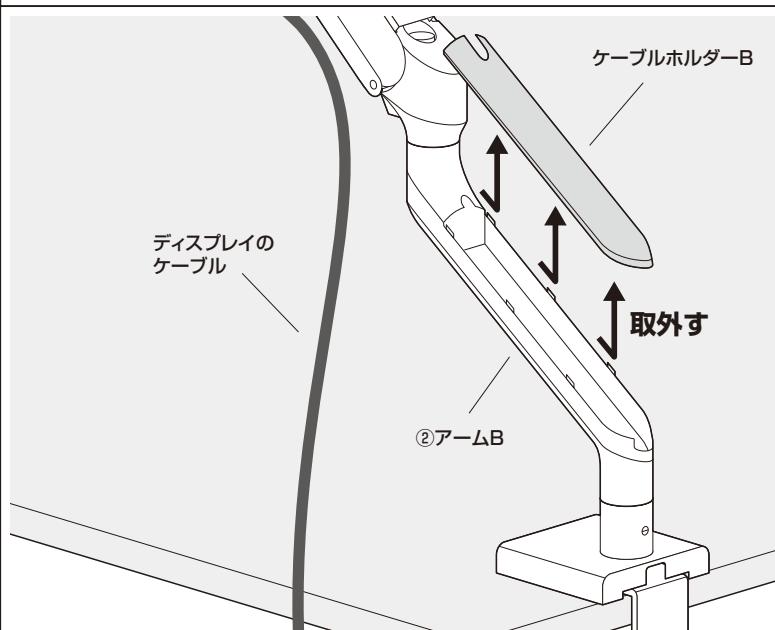
### 14.ケーブルホルダーAを取外します。



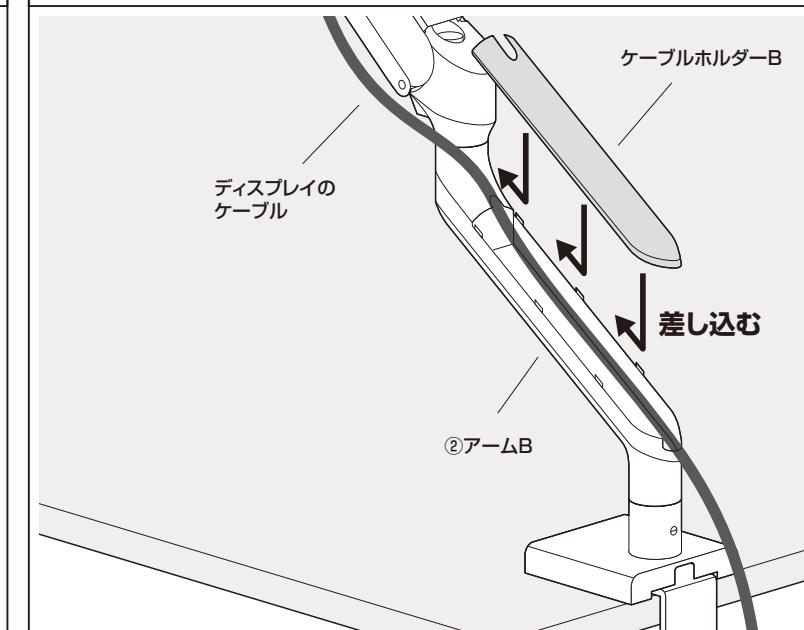
### 15.ケーブルホルダーAを取付けます。



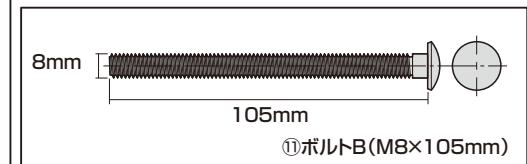
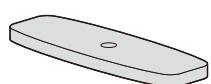
### 16.ケーブルホルダーBを取外します。



### 17.ケーブルホルダーBを取付けて完成です。



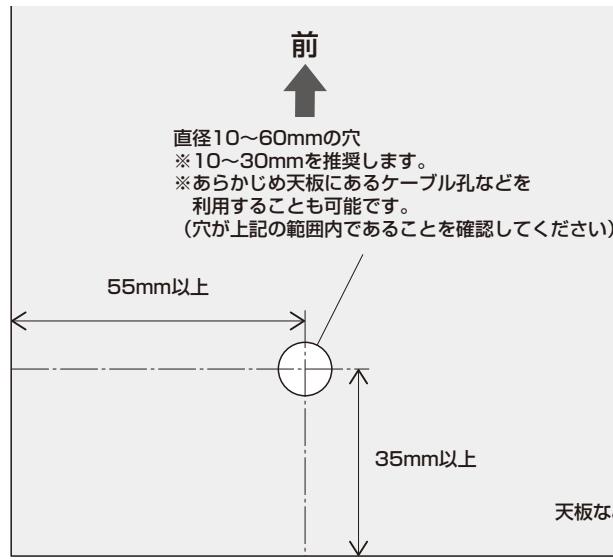
※はさんで固定する場合は、下記の部品は使用しません。



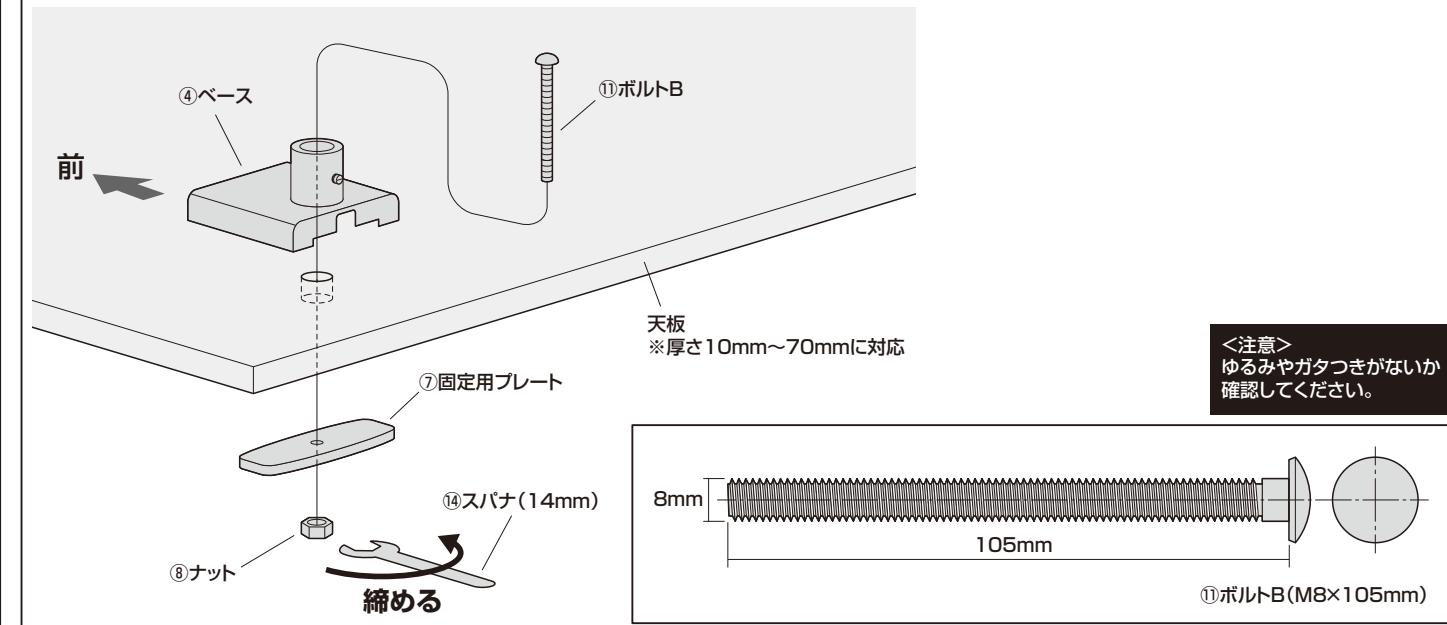
## 穴に通して固定する場合

### 3.天板に穴を開けます。

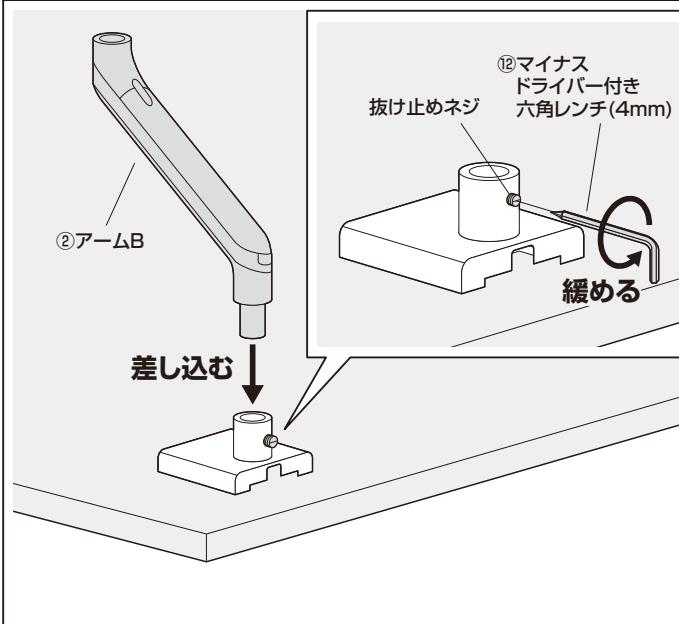
<上から見た図>



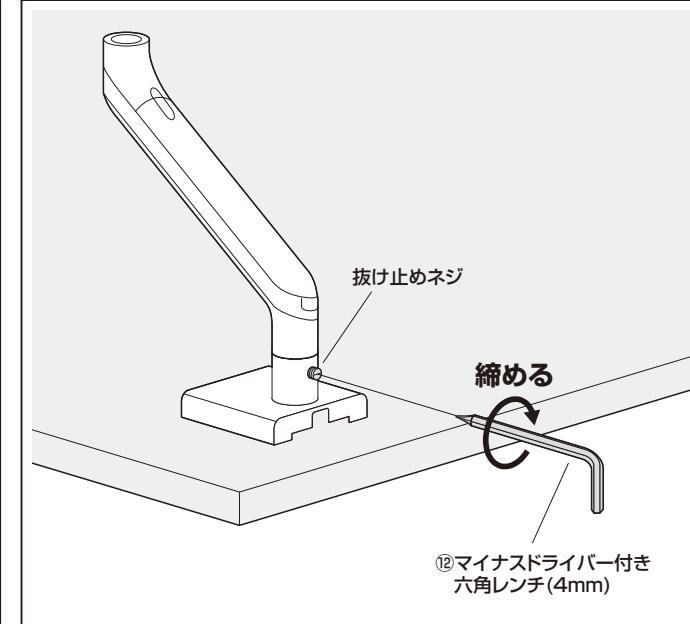
### 4.天板にベースを取り付けます。



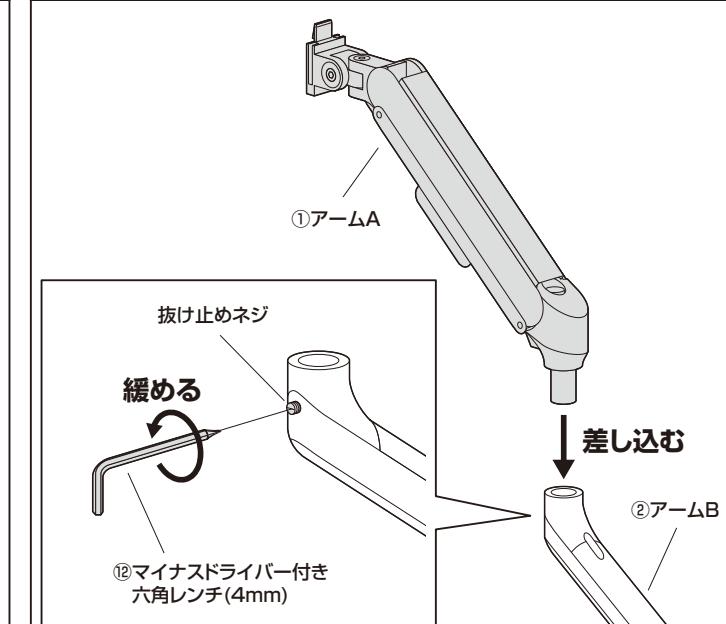
### 5.アームBを差し込みます。



### 6.アームBを固定します。

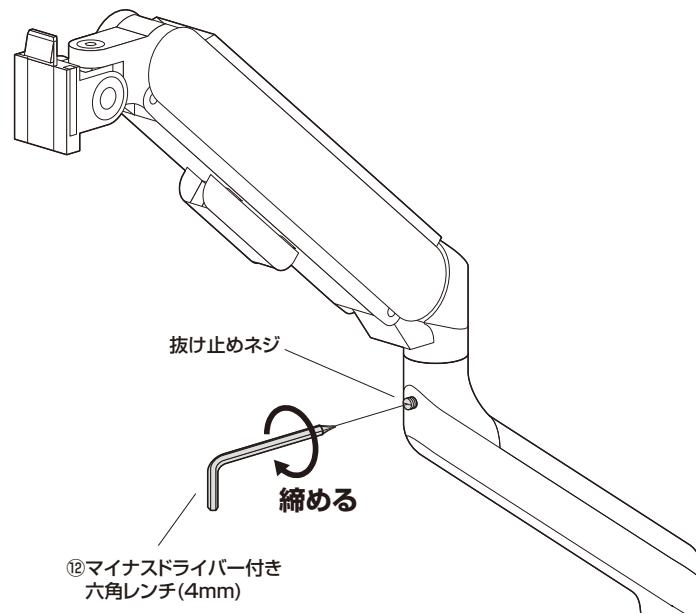


### 7.アームAを差し込みます。

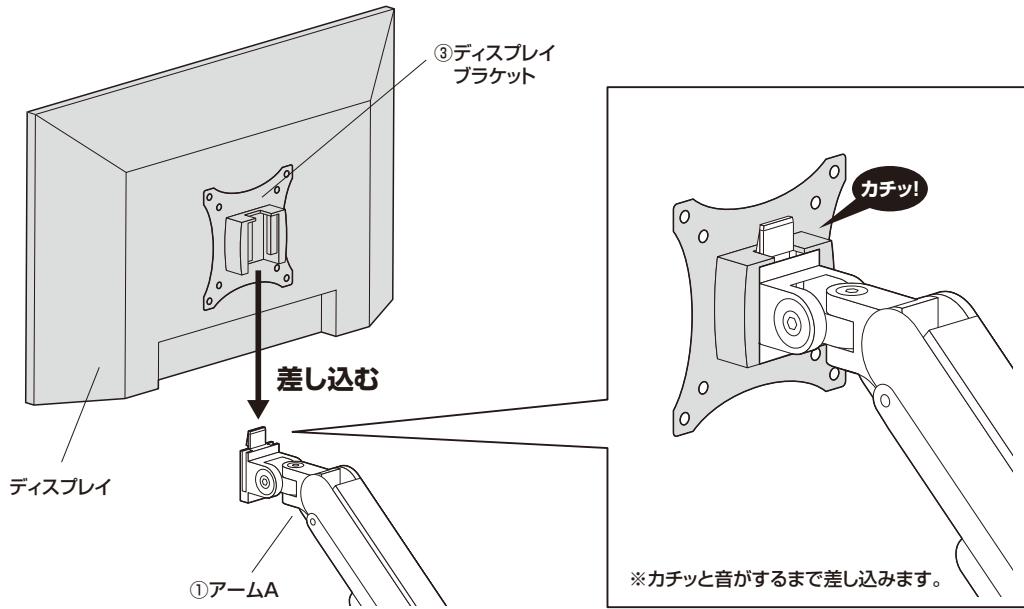


## 穴に通して固定する場合

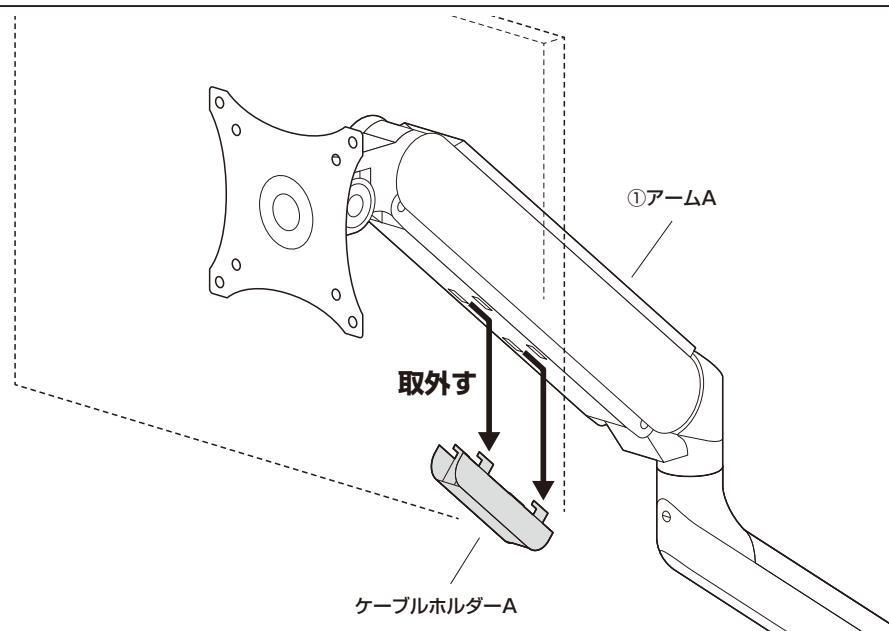
### 8.アームAを固定します。



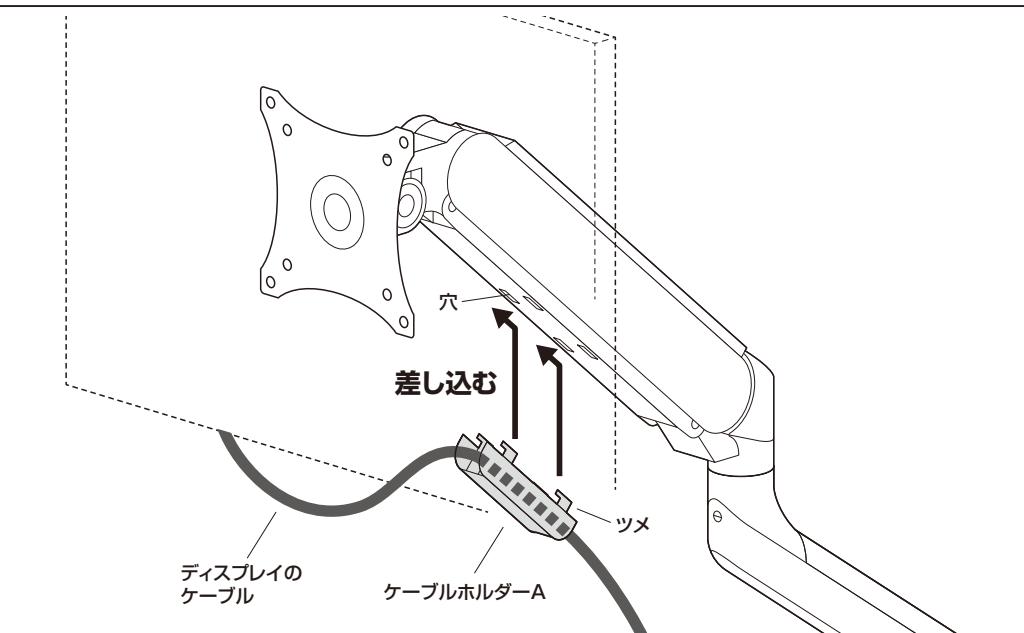
### 9.アームAにディスプレイブラケットを差し込みます。



### 10.ケーブルホルダーAを取り外します。

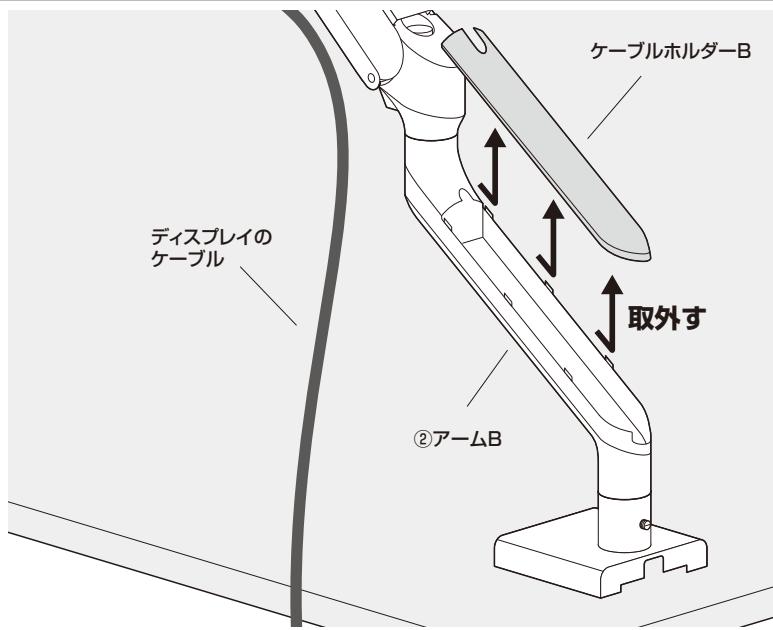


### 11.ケーブルホルダーAを取付けます。

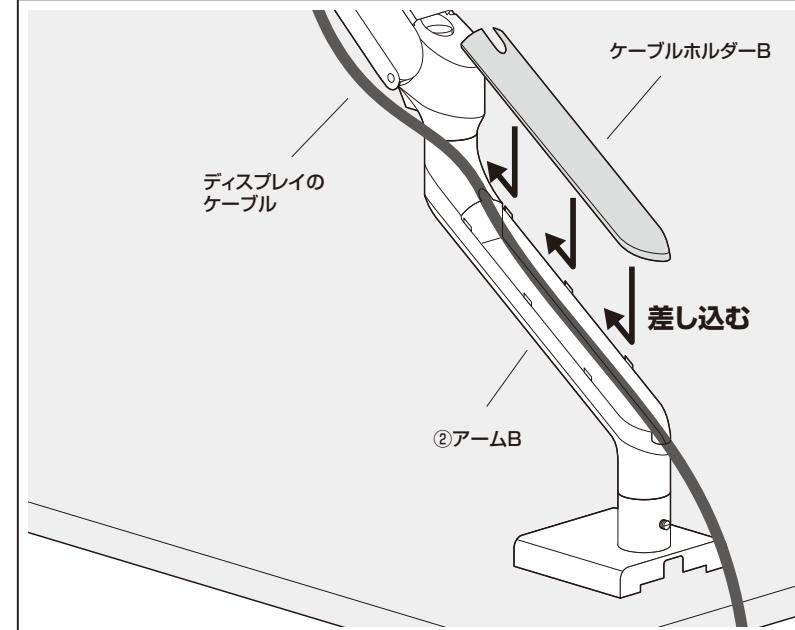


## 穴に通して固定する場合

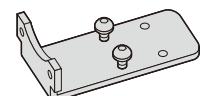
### 12.ケーブルホルダーBを取外します。



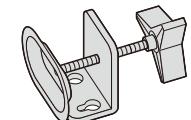
### 13.ケーブルホルダーBを取付けて完成です。



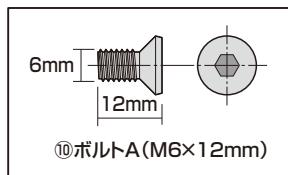
※穴に通して固定する場合は、下記の部品は使用しません。



⑤ベースブラケット

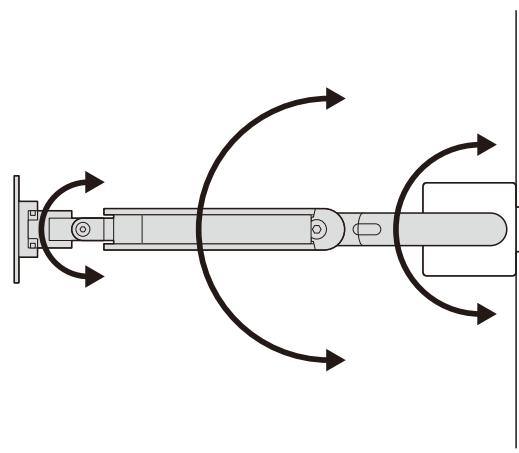


⑥クランプ



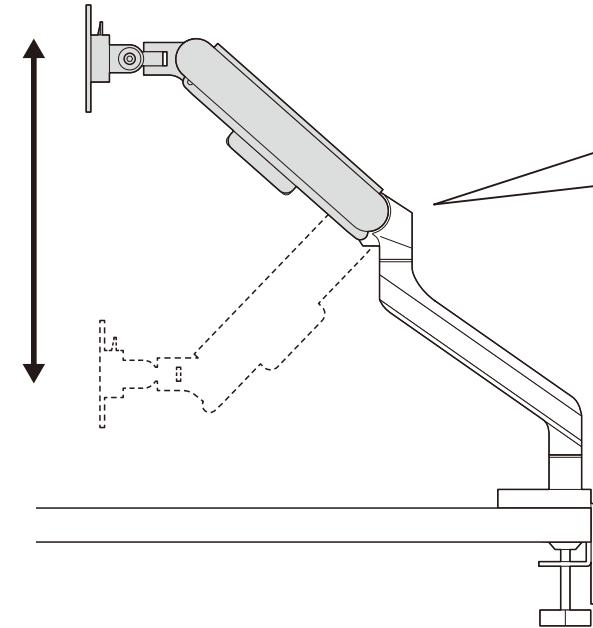
⑩ボルトA (M6×12mm)

## アームの可動範囲



<注意>  
天板の外にディスプレイが出る状態での  
使用はさけてください。

## アームの保持力の調節方法

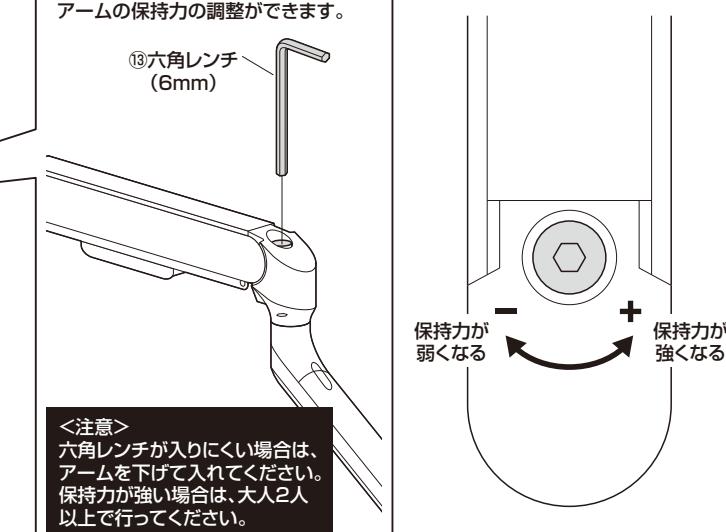


取付けるディスプレイに合わせて  
アームの保持力の調整ができます。

⑬六角レンチ  
(6mm)

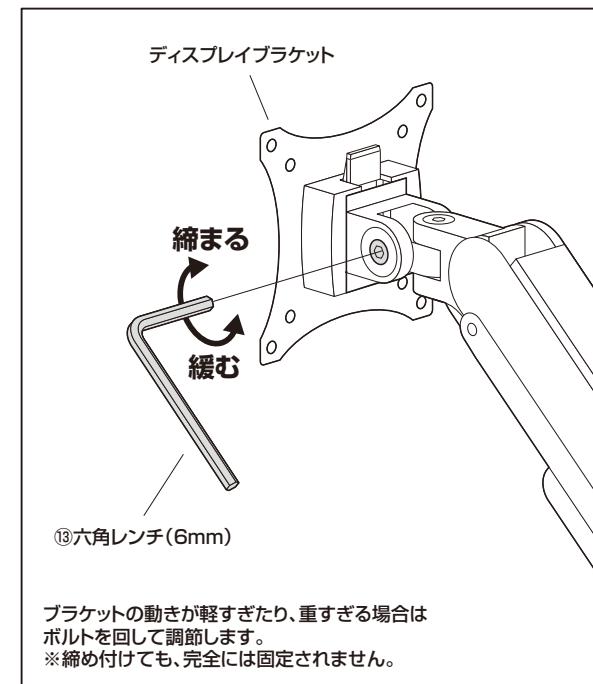
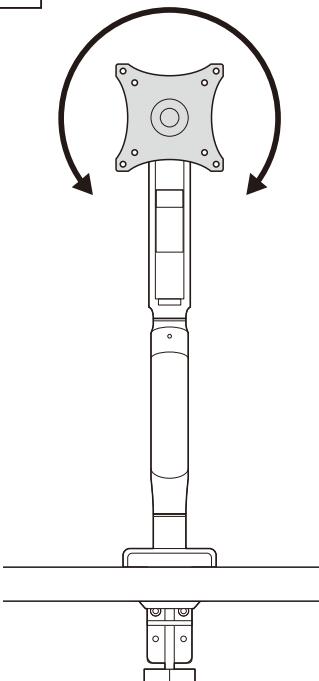
<注意>  
六角レンチが入りにくい場合は、  
アームを下げるで入れてください。  
保持力が強い場合は、大人2人  
以上で行ってください。

## <上から見た図>

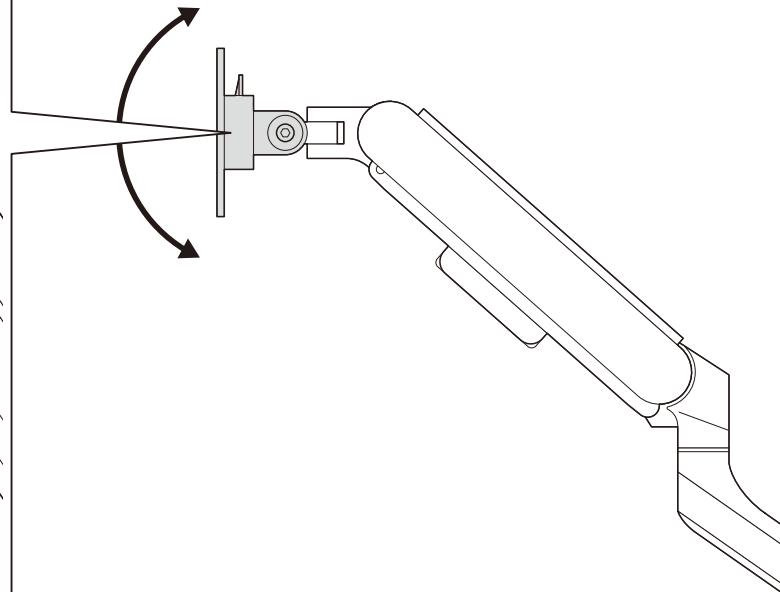


保持力が  
弱くなる  
+ 保持力が  
強くなる

## ブラケットの調節方法

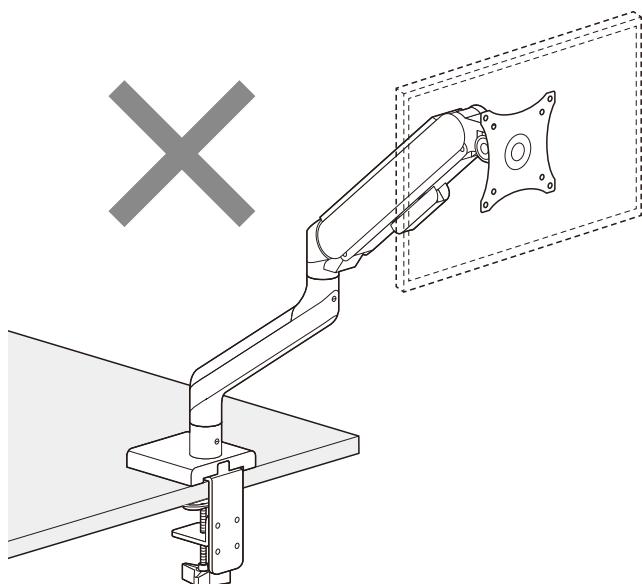


ブラケットの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は  
ボルトを回して調節します。  
※締め付けても、完全には固定されません。

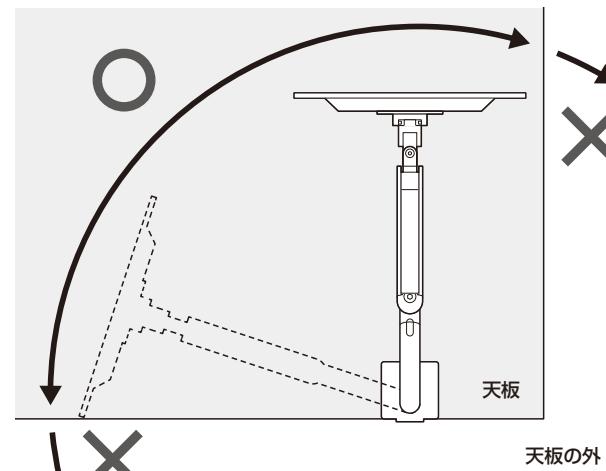


## 安全の為に注意していただく点

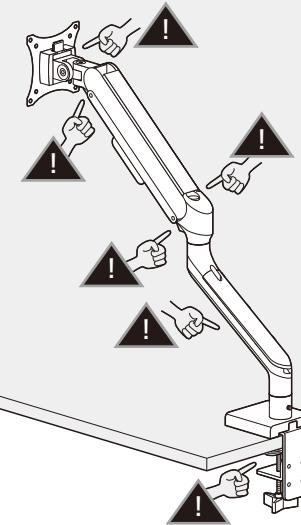
落下する恐れがあるので、天板の外にディスプレイが出る状態での使用はさけてください。



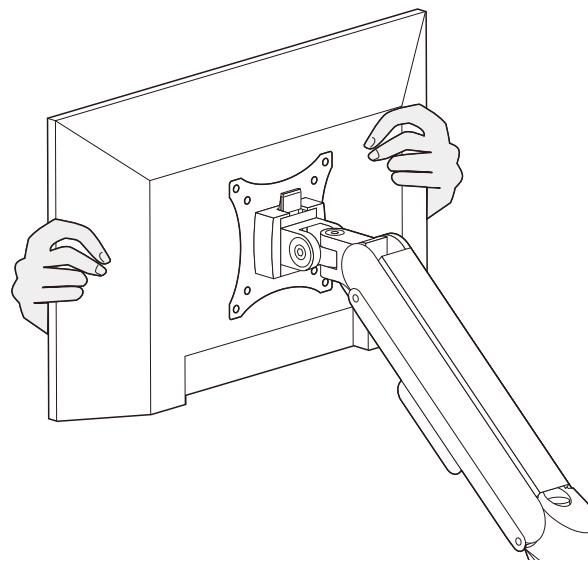
<上から見た図>



可動部分で指をはさまないように注意してください。



ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



### その他

- アームには耐荷重以上の機器を取り付けないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を取付けた机を移動させないでください。
- ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触らせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。